



市制施行 **20** 周年

## 探訪 鉱山地区

11月3日に行われた『ふるさと市民セミナー』は、本年度の締めくくりとして鉱山地区を訪ねた。

“秘湯”川又温泉や金鉱跡巡りに約 120名が参加し、川石を跳んだり草木が生い茂る秋晴れの大自然をたん能した。

参加した市民は「話に聞いていたとおり、とっても良いところ」と満足そうに語り、同地区の生い立ちの説明に耳を傾け、往時に思いをはせていた。

NOBORIBETSU

広報  
**のぼりべつ**

'90.12.1  
No.482

① ■人口/56,601 ■世帯/19,678 (前月比=人口 +17・世帯 +49) 平成2年10月末現在



# 市内小学校

## 合同芸術祭

第三回登別市内小学校合同芸術祭が、十一月九日に市民会館で行われました。

市内十校の五、六年生約九百名が参加し、「心を一つにふれあおう」をテーマに歌や器楽演奏を披露しました。

この合同芸術祭は児童同志が交流し、全員がステージ発表を体験



できるようにと昭和六十三年から

催されています。若草小の器楽演奏で開幕したステージ上ではクラシックから歌謡曲まで幅広い分野の演目が演奏されました。

また、今年開校五十周年を迎えた札内小は夏の思い出を「構成詩」で表現するなど、各小の頑張りにも集まった観衆から盛んな拍手が送られました。

このほか、初の取り組みとして参加児童全員による「きみとぼくの間」が合唱され、会場いっばいに元気な歌声が響き渡っていました。

### 壮観!!

### 菊花展

十一月一日から三日まで、中央町の青少年会館が菊の香りとあでやかさで彩られました。

登別市菊花好友会（千葉寿良会長、五十人）が主催した菊花展は昭和二十四年同会発足以来開催されています。今年も愛好家が丹精込めて育てた、約三百点の作品が会場を埋めました。大輪の大づかみ、花卉が管のように伸びた管物



豪華な懸がいなど会員自慢の作品は見事なできばえでした。「今年は暖かく苦労しましたが、花の咲き具合は満足できます」と語る会員の言葉どおり、訪れた市民はうっとり見入っていました。

### 昔遊びで交流

十一月十二日、富士、桜木保育所の児童と老人クラブ富士の白雪会のメンバー合わせて百名が、富士保育所で懐かしい遊びを通じ交流しました。

丸く切ったボール紙に色を付け割りばしを削った簡単なコマをおじいさんたちが器用に操ると子供たちは大はしゃぎ。続いておばあさんたちとお手玉で遊ぶなどしたあとは、一緒にお昼ごはんを食べ楽しい一日を



過しました。この行事は保育所地域活動事業の一環で年六回実施し、今後は老人ホーム恵寿園の訪問などを予定しています。

わ だ い

# スクランブル



# サーモボニック

## 操業開始

登別市へ進出した半導体素子製造、販売企業サーモボニック（本社神奈川県）北海道事業所が、十一月二十二日より試験操業を始め、十一月八日のしゅん工披露により本格的に操業を開始しました。

同社は排熱利用の発電と環境破壊につながるフロンガスを使用しないで冷却を行う二つの機能を持つ熱電変換素子を作る国内でも数少ないメーカーです。

鉄骨二階建て約四百平方メートルの工場は、一階に電気炉や半導体切断機、検査装置など一次生産部門を配し、二階は製品化部門と事務部



門となっています。

建物の外壁はセラミックスを用い、電気炉から出る排熱を再利用して室内暖房に生かすシステムを導入しています。

現在は、地元からの採用者十四名を含む二十人体制で操業しており、来年度以降の営業状況によっては、一層の雇用拡大が見込まれます。

## こんなとき

### どうするの？



急病人やケガ人に直面したとき、医師にひきつづくまでにどのような処置をとったら良いのかを学ぶ「赤十字救急法講習会（短期）」が十一月十五日鉄南ふれあいセンターで開催されました。

講習会では、講師から急病患者

に対する心構えなどを学んだあと、実地講習が行われました。

参加した三十二名の受講者は、氣道を確保する方法や止血法などを実際に試し、お互いにその効果を確認しながら万が一に備え講師の動きを自分のものにしようと真剣に取り組んでいました。

## 自分好みに

### 染め上げたい！

登別公民館講座「草木染め教室」が開かれました。

深まる秋にちなみ、栗のいがを用いて木綿のストールを染めあげることが目標に行われた教室には、主婦を中心とした三十名が集まり、初日の十一月十五日は染液の原液作りを行いました。

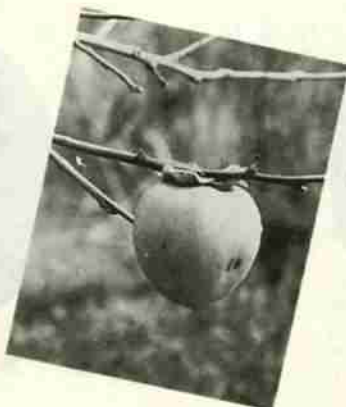
二十二日は実際に染色を行い、自分好みに染め上げた人もそうで



ない人も、天然の素材を使って自分なりに染め物を作る基礎知識が習得でき、今後は自分なりに素材を探して好みの色に染め上げたいと語っていました。

## 市内に

### 柿が…？!



甘柿は岩手県、渋柿は青森県が農業的に成り立つ北限と言われていますが、今年登別でも珍らしく実をつけた柿の木がありました。場所は新川町の武田さんのお宅。「十何年前に、本州へ法事があつて行った時に持って来た」とおっしゃる武田さん。

今年、初めて五つ実った柿の味は、まだ食べていないのでわからないようですが、たわわに実る柿の大きさはこぶし大です。庭には「マメガキ」も鈴生りで、今年の夏がいかに暑かったかを物語っているようです。

## 美しいハーモニー 合唱の集い

十一月十七日、登別公民館で市内のコーラスグループ十団体が参加した合唱の集いが開かれました。合唱の集いは例年、市民会館を会場に市民文化祭の行事の中で行われていましたが、今回は開館五周年を迎えた登別公民館へ会場を移し開館記念事業として開かれました。

この集いには市内のコーラスサークル、学校のコンクールで優秀な成績を取った各校の代表など約三百名が参加し、唱歌や合唱組曲など工夫をこらしたプログラムでそれぞれの持ち歌の中から自慢の曲を披露しました。会場を訪れた約四百名の市民は素晴らしい歌声に、盛んな拍手を送っていました。





# 平成2年度 登別市功労者・ 市民表彰者



十一月三日文化の日、市民会館で平成2年度の  
市功労者・市民表彰式が行われました。

これは、長年にわたって私たちのまち登別市の  
行政・産業・社会福祉など各分野で活躍され、当市  
の発展に貢献された方や模範となる行いをされた  
方の功績をたたえようとするものです。

今年は市功労者十六人、市民表彰者として五団  
体と二十三人の方が表彰されました。

表彰者・団体は次のとおりです。(敬称略、順不同)

## 登別市 功労者

▼水口竹夫 (中央町五丁目一番地  
一)  
永年にわたり登別市議会議員と  
して市政に参画し、市勢の発展と  
地方自治の振興に多大な貢献をさ  
れました。



水口 竹夫

▼畠山春雄 (美園町一丁目二十八  
番地)  
永年にわたり登別市議会議員と  
して市政に参画し、市勢の発展と  
地方自治の振興に多大な貢献をさ  
れました。



畠山 春雄

地方自治の振興に多大な貢献をさ  
れました。



内山 俱一

▼小坂義昭 (登別東町四丁目三十  
五番地二十)  
永年にわたり登別市議会議員と  
して市政に参画し、市勢の発展と  
地方自治の振興に多大な貢献をさ  
れました。



小坂 義昭



▼内山俱一 (富士町五丁目五番地  
一)

永年にわたり登別市議会議員と  
して市政に参画し、市勢の発展と

▼坂本 保 (富士町一丁目四番地  
二)  
永年にわたり登別市議会議員として市政に参画し、市勢の発展と地方自治の振興に多大な貢献をされました。



坂本 保

▼篠原孝明 (栄町四丁目七番地二)  
永年にわたり登別市議会議員として市政に参画し、市勢の発展と地方自治の振興に多大な貢献をされました。



篠原 孝明

▼東條康之 (片倉町二丁目八番地  
一)  
永年にわたり登別市議会議員として市政に参画し、市勢の発展と地方自治の振興に多大な貢献をされました。



宮武 克安

▼宮武克安 (幌別町三丁目四番地  
三)  
永年にわたり登別市議会議員として市政に参画し、市勢の発展と地方自治の振興に多大な貢献をされました。



長堀 益久

▼長堀益久 (富士町四丁目三十三番地一)  
永年にわたり登別市議会議員として市政に参画し、市勢の発展と地方自治の振興に多大な貢献をされました。



東條 康之

▼山本茂治 (登別東町二丁目三十五番地三)  
永年にわたり登別市議会議員として市政に参画し、市勢の発展と地方自治の振興に多大な貢献をされました。



山本 茂治

▼飯島三男 (鶯別町四丁目三十五番地三)  
永年にわたり地域医療の進展に寄与するとともに、学校医、予防接種医として児童生徒の健康管理及び伝染病の予防に多大な貢献をされました。



飯島 三男

▼千葉寿良 (中登別町二十四番地)  
永年にわたり地域医療の進展に寄与するとともに、学校医、予防接種医として児童生徒の健康管理及び伝染病の予防に多大な貢献をされました。



赤 檉 博

▼赤檉 博 (片倉町三丁目二十三番地)  
永年にわたり登別市農業委員会委員として、地域農業の振興に多大な貢献をされました。



福 沢 幸 男

▼福沢幸男 (常盤町二丁目一番地  
一)  
永年にわたり学校薬剤師として、学校環境衛生の充実と改善に多大な貢献をされました。



千 葉 寿 良

▼吉鷹敬次郎 (青葉町二十五番地  
一)  
永年にわたり登別市農業委員会委員として、地域農業の振興に多大な貢献をされました。



吉 鷹 敬 次 郎

▼岩原秀夫 (登別温泉町四十五番地)  
永年にわたり登別市写真撮影業者審査委員及び登別市観光開発審議会委員として観光産業の発展に多大な貢献をされました。



岩 原 秀 夫





# 文部大臣表彰



宮武 忠史さん

昭和三十七年に歯科医院を開業して以来、幌別中学校、富岸小学校、幌別東小学校などの学校歯科医を努め、児童・生徒の口腔衛生予防に貢献されました。

# 登別市民表彰

## 自治貢献表彰

- ▼阿久津一郎（登別東町二丁目六番地五）  
多年にわたり登別市議会議員として地方自治の振興に貢献されました。
- ▼佐々木 一（登別温泉町八十番地）  
多年にわたり登別市議会議員として地方自治の振興に貢献されました。
- ▼佐藤紀彦（緑町二丁目八番地二）  
多年にわたり登別市議会議員として地方自治の振興に貢献されました。
- ▼波田 勝（新生町五丁目十八番地一）  
多年にわたり登別市議会議員として地方自治の振興に貢献されました。

- の向上に貢献されました。
- ▼大森秀雄（美園町六丁目三十一番地八）  
多年にわたり登別市民生委員及び登別市児童委員として社会福祉の向上に貢献されました。
- ▼高橋弘司（千歳町一丁目十七番地二）  
多年にわたり登別市民生委員及び登別市児童委員として社会福祉の向上に貢献されました。
- ▼千葉久子（美園町二丁目十一番地三）  
多年にわたり登別市民生委員及び登別市児童委員として社会福祉の向上に貢献されました。
- ▼吉岡正章（桜木町五丁目一番地二）  
多年にわたり登別市民生委員及び登別市児童委員として社会福祉の向上に貢献されました。
- ▼和田正二郎（登別本町三丁目十二番地一）  
多年にわたり登別市民生委員及び登別市児童委員として社会福祉の向上に貢献されました。
- ▼遠藤喜美子（中央町六丁目四番地二）  
多年にわたり登別地区保護司として非行者の更生善導と犯罪防止のため貢献されました。
- ▼小島孝之（登別東町四丁目二十六番地三）  
多年にわたり義肢装具士として地域医療の向上に貢献されました。

- ▼鈴木清信（富岸町二丁目十八番地十六）  
多年にわたり検査技師として地域医療の向上に貢献されました。
- ▼宮崎美司（登別東町四丁目八番地三）  
多年にわたり放射線技師として地域医療の向上に貢献されました。
- ▼箱崎ユキ（鶯別町三丁目四十三番地一）  
多年にわたり看護婦として地域医療の向上に貢献されました。
- ▼千葉 明（幌別町一丁目八番地四）  
多年にわたり運送業務従業員として精励されるとともに、後進の指導育成に貢献されました。
- ▼山本芳則（桜木町二丁目七番地四）  
多年にわたり建具技能士として精励されるとともに、技能協会役員として後継者の育成に貢献されました。

## 善行表彰

- ▼柿下侍叙香（中央町七丁目三十四番地三）  
多年にわたり養護老人ホーム恵寿園生花教室の講師として奉仕活動に尽力されました。
- ▼長尾千代（千歳町三丁目十番地三）  
多年にわたり養護老人ホーム恵寿園手芸教室の講師として奉仕活動に尽力されました。
- ▼松浦 正（柏木町三丁目六番地二）  
多年にわたり養護老人ホーム恵寿園民謡教室の講師として奉仕活動に尽力されました。
- ▼登別市視力障害者協会（中央町四丁目十一番地）  
多年にわたり養護老人ホーム恵寿園の入園者にハリ・マッサージの奉仕活動に尽力されました。
- ▼野沢金三郎（新川町二丁目四番地三）  
平成二年八月八日幌別海岸で高波にさらわれた小学生を発見し、自己の危険を顧みず救助にあたり人命を救助されました。

## 篤志貢献表彰

- ▼天明産業株式会社（栃木県佐野市大伏中町二七二一）  
公共用地として土地を寄附され、公益に寄与されました。
- ▼野口観光株式会社（登別温泉町二〇三番地一）  
多額の金員を寄附され、公益に寄与されました。
- ▼株式会社わかさいも本舗（虻田郡虻田町字洞爺湖温泉町一〇八番地）  
多額の金員を寄附され、公益に寄与されました。



## 故室 久吉氏の

### 公葬を執り行います

登別市名誉市民室 久吉氏、なお、誠に勝手ながら御香典十一月七日七十八才をもって永眠 御供花、御供物等の儀は固くされました。ここに生前の御功績 御遠慮申し上げます。万一おを偲び次により告別式を執り行い 届けたいだけでも御遠慮申しますので謹んで御通知申し上げます。上げますので御了承願います。

記

一、告別式 十二月十六日午前十時

二、式場 登別市民会館

(登別市富士町七丁目三十三番地)

略歴

大正二年幌別村鷺別(現在の鷺別町)生まれ。昭和二十二年幌別村議会議員に初当選以来、六十二年まで同村議、町議、市議に十期連続当選し、四十六年からは通算十四年間議長として努められました。昭和六十年には、勲四等瑞宝章を受章され、六十二年登別市名誉市民の称号を贈られました。



## 市長室フリータイムを実施します

市は、市民の皆さんが市長と自由に語り合える機会を拡げようと「市長室フリータイム」を設けています。

日頃、市長と会って話したいと考えている方は、どうぞこの機会をご利用ください。

なお、今回からは来庁される市民の方の待ち時間を少なくするため、あらかじめ電話で予約を受け付けます。

総務課広聴広報係 (☎1130) までお申し込みください。(先着6組程度)

▶開催日時 12月18日(火) 午前9時30分～午前11時30分

# 登別市職員の給与の状況

市職員の給与は「登別市職員の給与に関する条例」に基づいて支給されます。

今号は、その支給状況のあらましをお知らせします。

### 人件費の決算

人件費とは、職員に支給する給料や各種手当、使用者負担の共済費等を含む費用をいいます。

平成元年度一般会計の決算額は百四十九億二千三百二十六万九千円で、そのうち人件費は三十七億七千六百二十四万九千円、構成比は二十五・三パーセントになります。

なお、平成二年四月一日現在の一般行政職平均給料月額 は二十七万九千七百円、平均年齢は四十・四歳です。

### 初任給と

#### 平均給料月額

一般行政職の初任給と経験年数別平均給料月額は、表①のとおりです。

### 職員手当の状況

◎期末・勤勉手当：民間のボーナスに相当するもので、

国と同じく年間五・一か月分です。

◎扶養手当など：扶養手当は扶養家族のいる職員に毎月支給し、配偶者一六六千円、配偶者以外二人目まで四千五百円などとなっています。住居手当は持家が千円、借家は最高二万千円(いずれも一か月)です。

### 退職手当

退職する理由によって支給率が違います。内容は表②のとおりです。

### 市長などの

#### 給料月額

市長などの給料月額と市議会議長などの報酬月額は表③のとおりです。なお、年間の期末手当は、市長、議長なども支給率は五・一か月分です。

①初任給と経験年数別平均給料月額

| 区分  | 初任給      | 経験年数別平均給料月額 |          |          |
|-----|----------|-------------|----------|----------|
|     |          | 10年～14年     | 15年～19年  | 20年～24年  |
| 大学卒 | 126,300円 | 235,600円    | 285,400円 | 344,900円 |
| 高校卒 | 106,600円 | 203,200円    | 240,000円 | 291,700円 |

②退職手当

(単位/月分)

| 区分      | 勤続20年  | 勤続25年  | 勤続35年  | 最高限度額  |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| 自己都合退職  | 21.000 | 28.375 | 48.125 | 60.000 |
| 勲奨・定年退職 | 28.875 | 44.550 | 63.525 | 63.525 |

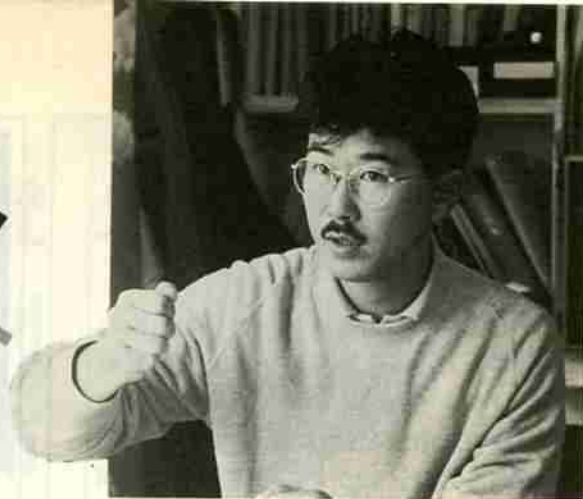
③特別職等の給料月額

| 区分  | 給料月額     |
|-----|----------|
| 市長  | 800,000円 |
| 助役  | 640,000円 |
| 収入役 | 580,000円 |
| 区分  | 報酬月額     |
| 議長  | 340,000円 |
| 副議長 | 300,000円 |
| 議員  | 270,000円 |



# いきいき人とまち インタビュー

志賀 俊哉 さん (29歳)



大空にかける夢  
スタント・カイト普及  
に情熱を燃やす!!

——スタント・カイトは、曲芸風(たこ)とでも訳すのでしょうか。日本の風と違って、二本の糸で操るスポーツ性の高い風です。

日本の風が風を逃がしながら上がるのとは逆に、スタント・カイトは、風をつかんで上がるので微風の時でも楽しめます。いま、アメリカでブームになっていて愛好者が三千万人はいると言われていきます。

もともとは一九三〇年代、アメリカの海軍で射撃訓練用の標的として作られたんですが、それがだんだん一般の趣味、競技用として普及してきたんです。日本に紹介されてからまだ日の浅いスポーツですが、子供からお年寄りまで楽しめますので、ここ登別を発信基地に全国に広めたいと思っています。

今年七月二十日登別マリリンバ

——十一月三日札幌で、全道で初めてのスポーツカイト選手権大会が開かれ登別からも参加しました。当日は、風がなく悪いコンディションでしたが、運よく私の時に良い風が吹いてくれて個人競技で優勝することができました。ラッキーでした。いま登別の技術水準は高い方なんです。愛好者で「ジェニースタントカイト・クラブ」を結成し練習に励んでいます。幌別の日の出球場や札内の草原でやっているんです。現在会員は六十名ほどいます。

——一月の三日札幌で、全道で初めてのスポーツカイト選手権大会が開かれ登別からも参加しました。当日は、風がなく悪いコンディションでしたが、運よく私の時に良い風が吹いてくれて個人競技で優勝することができました。ラッキーでした。いま登別の技術水準は高い方なんです。愛好者で「ジェニースタントカイト・クラブ」を結成し練習に励んでいます。幌別の日の出球場や札内の草原でやっているんです。現在会員は六十名ほどいます。

志賀さんの店は、全道で初めての専門店。全国でも三軒しかないと言います。そのため、全国の仲間の情報交換基地にもなっているようです。全国的なネットワークづくりを目指しながら、

カイト人口の底辺拡大を担って説明にも力が入る。

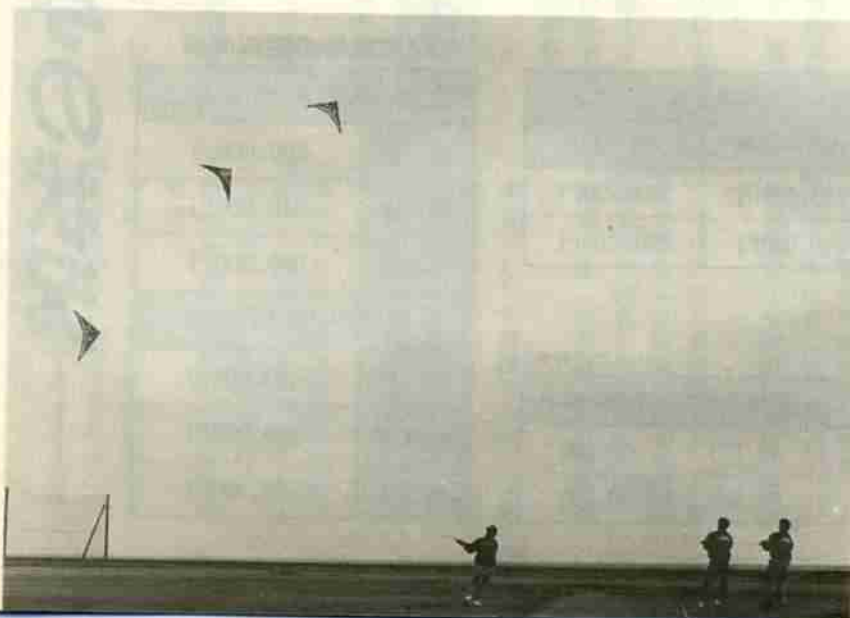
——スタント・カイトは非常に上がりやすい風ですから子供でも三十分もあれば上手に上げることが出来ます。簡単で、そして奥行きが深いスポーツです。三・四人のチームでの演技は、航空ショーのようにすばらしいですよ。競技は、カイトを操る技術、演技の美しさなどを競います。

いま、日本で扱っているカイトは、三角形をしたデルタ型、連風も可能なダイヤモンド型、フワフワ浮くように上がるパラホイル型、それにヘリコプターのように複雑な動きのできる四本糸のレポリューション型です。それぞれに特徴のあるカイトで色々な楽しみ方ができます。

ただ、日本ではまだ作っていないものから、全てアメリカからの個人輸入なんです。今後、近いうちに日本での製作も始まると聞いていますので、そうしたもともと身近に親しめるようになると思います。

熱っぽく夢を語る志賀さんを支援しているのは、地元登別の青年たち。その中のひとり登別東町の成田光男さん(29)は「遊びですから楽しいのはもちろんですけど、この新しい分野が登別から発信されるということに意義を感じます」と期待を寄せる。

登別マリリンパークのオープン以来、新しい風が吹き始めた登別地区。いま、その風に乗ってまた一つ若い夢が広がりはじめたようだ。





# いきいき人とまち推進事業 国内研修に参加して…

リポーター 工藤 勝 雄

## 人材育成が重要

このたび市が進めているふるさと創生事業の人材育成について、市民より広く意見を求めていたため応募しました。

明治維新の国づくりに多大な貢献をした山口県萩市を訪問し、昔の人が人材育成にどのように取り組んできたのか、また現在のまちづくりをどのように推し進めているのかを私なりに萩に行き調査研修をしてきました。

萩市の歴史は、毛利藩がこの地に城を構築してから二百六十年間、城下町として栄え、昭和七年に人口三万二千人余で市制を施行。昭和三十年には近隣の四町村を合併して人口五万七千人で再出発しました。しかし、工業生産の立ち遅れから人口が減少の一途をたどり現

在五万二千人余りとなっています。まちの活性化を図るためいろいろな手段を講じていますが、特に陶芸の萩焼に力を入れていきます。同時に歴史観光、自然観光にもまちを上げて取り組んでいるのが実情でした。

その昔毛利藩は、広島を中心とした百二十万石の大大名でしたが関が原の戦に豊臣方に味方したため徳川幕府より二か国三十六万石に削減され非常に苦しい生活が続きました。このため殿様と家臣が心をひとつにし藩財政を立て直しに努め、その結果五十二万石に相当する実力を有するまでになりました。また、藩主は代々子弟の教育には特に力を入れ藩校「明倫館」を創設し、文武両道の教育を行っていました。藩政も独裁制を行わず会議制にし、官民総意による政治を行い、和紙製造、塩業、米作と各種産業にも力を注いでいました。

維新の若き志士たちの活躍を語る時、松下村塾の吉田松陰先生の教育がすべての様に思われました。今年、松陰先生の生誕百六十年にあたる年で市では色々なイベントを開催していました。特色のあるものとして「萩平成維新塾」を開講して松下村塾の手作りにあやかりとうとしています。松陰先生は、しっかりと本を読んでいなければ世のため人のために尽すような人になれない、また、少しの労でもいやがるものは多くの人のため

に尽すような人になれない」と学ぶ者の心構えを教え、松下村塾とも言ふ抱負を以って熱血溢る教育を、とその指導方針を示し、二年余りの教育に自分の志を託すべく全力を捧げたということです。

松下村塾は、武士でも町人でも学びたい者はだれでも塾生になれた私塾でした。ここでの学問は学者になるためではなく、人は学んだ事をどう実行するかが大切かを教えました。今日では、実践主義のリーダー養成に会社経営者を始め各階層の指導的立場の人が松陰先生の教育法を研修し、社員教育の参考にしていくこととした。

今、萩市は二十世紀に向けた基本方針を昭和六十二年に打ち出し、日本でも初めての「庭園都市萩」を宣言しました。歴史の庭園、自然の庭園、心の庭園、幕らしの庭園、営みの庭園、そして未来の庭園と六項目を上げ市のまちづくりの基本としています。

億円も庭園都市形成促進の基金として活用し、環境美化の展開、各種イベント事業、シンボリック景観の形成と将来のまちづくりのために活用するよう取り組んでいます。前述した「萩平成維新塾」は、感受性の強い中学生を中心に人づくり教育に力を入れており、まちづくりへの市民の努力に触れることができ、わが登別市も人材育成が必要との感を強くしたいです。

松陰神社



松下村塾





# こんなところ あんなところ

## 私の好きな場所

登別温泉地獄谷の駐車場の向い側にとっしりと建っているのが、「題目石」です。

日蓮上人の法弟日進上人、日持上人のいい伝えもありますが明治四年（一八七一年）、伊達妙栄寺の開山である日進上人が、墨で自然石にお題目を書いたものです。今では判読もできませんが、水をそそぐと墨痕をうかがうことができるとされています。



### 其のち

## 題目石

## 市民登場

# 友達の輪



山下 峻二さん

(46歳) 富士町在住

旭川出身ですが札幌に住んで二十十年になります。人間関係の広がり仕事より趣味を通じてかな。ジャズは高校の頃から、聴くばかりで、楽器やる人を尊敬しています。あとカメラとか登山。今凝っているのは自転車。今夏はオロフレ峠を越えて伊達へとツーリングしました。冬はクロスカントリーに挑戦しようかと。ええ、年齢は意識してます。体力づくりを心がけなきゃあつてね。息子も高一と小六で、だんだんたくましくなるし、難しい年頃にもさしかかっていますしね、負けてられないですよ。

顔は見分けれられないけど、明らかに中高生と判る子にはダメって断って売らない。そうすると他の商品も全部元へ戻して帰っちゃうの。商売としては辛いけど社会的影響って考えないわけにいかないですからね、大人の責任っていうかね。一軒ぐらいそういう店があってもいいんじゃないかって。それと、今の子って悪びれていなすぎるっていうか、当り前みたいな顔で買ってくるから可愛いくないのね。でもこんな風潮も大人の責任なんだと思うと考え込んだりして、いえ、他人事じゃなくて。

リポーター・坂本 優徳

次回は上登別町在住の宇都宮麻希さんです。お楽しみに。

## 乳がん検診を 実施します

北海道対がん協会は、乳がん検診を実施します。乳がんの症状で一番多いのはシコリですが、小さいうちは気づかなかつたりします。この機会に受診し、健康を確かめましょう。

- ▼対象者 満三十歳以上の方
- ▼検診日 平成三年一月二十四日
- ▼場所 鷲別公民館
- ▼当日の受け付け時間 午前九時～午前九時二十分、午後十二時～四十分、午後一時
- ▼定員 午前：六十名、午後：四十名

▼検診料 千五百円（精密検査となつた方は保険診療となり、さらに千五百円から三千円程度必要となります）

- ▼持参するもの 検診料、健康保険証、風呂敷
- ※次に該当する方は無料となります。申し込みの際、申し出てください。
- 七十歳以上の方
- 生活保護世帯の方
- 市民税非課税世帯の方
- ▼申し込み・問い合わせ 保健衛生課健康指導係（☎1771）

### 〈ヘルスパイオタウン事業〉

短期人間ドックを  
ご利用ください

短期人間ドック助成事業を皆さ

んの健康管理にお役立てください。

- ▼対象者 国民健康保険加入者で次の条件を備えている方
- 満三十五歳以上の方
- 現在、入院または定期的に通院をしていない方（歯科は除く）
- ▼受診料 成人病健診コース：二万五千元、総合健診コース：三万五千元
- ▼受診場所 室蘭・登別総合健診センター（室蘭市東町四一二十一六）
- ▼受診日 同センターが指定
- ▼助成額 各コースとも一万七千五百円を助成
- ▼受診内容 ●成人病健診コース：胸部・胃部レントゲン、一般血液検査、心電図、眼底検査、尿検査など ●総合健診コース：成人病健診コースのほかに肺機能検査、腹部エコー検査などが加わります
- ▼申し込み方法 国民健康保険証と印鑑を持参のうえ、市役所国民健康保険係または各支所窓口へお申し込みください
- ▼問い合わせ 保健衛生課国民健康保険係（☎1771）

## 踏切は必ず一旦停止

JR北海道  
積雪のシーズンを迎え、路面凍結等により自動車の制動距離が長くなります。

踏切の手前では、早めにブレーキをかけ必ず一旦停止しましょう。





# 生涯学習 コーナー

未来の文盲にならないために

## 身近なことから スタートを!

現代社会は日々進歩の一途をたどっています。アメリカの未来学者のトフラーという人が「未来の文盲」という概念をだしました。未来の文盲とはどういうことかという、現代社会では読み書きできない人のことを文盲と言いますが、未来社会では文盲の概念が変わります。未来社会は変化のスピードが今以上に増し、その変化も過去に経験の無い変化が起きます。自分で考えられない人は未来の文盲だとトフラーは言っています。考える力を身につける、これが生涯学習で大事なことです。本を読んで知識を身につけることではありません。今、知識量は膨大に増えています。ところがその知識を

コントロールする論理力が相対的に低いです。例えばコンピュータ犯罪などがその典型です。知識をコントロールできないのですから英語の単語をたくさん知っていても文法がわからない英語ができないのと同じです。

では考える力をどうやってつけたいのか。例えばテレビを見ながらでも考える力を身につけることができます。だいたい午後八時からいろいろなドラマが始まります。これを見て半分くらいのところまでコマースヤルの間に、この先のストーリーはどうなるのかと自分で考えてみるんです。そして後半は自分の予想とテレビとを比較しながら見るんです。そして終わってからどちらがいいかなあ、と考えるんです。だんだんやっているうちに途中で犯人がわかったり、もっと訓練すると最初の方で犯人を当てることができるようになります。

このような方法が一番手軽に楽しみながら「考える力」を養うことができます。このように中断して考えるのをストッパウト思考と言います。途中で考えてみたけどわからない、おもしろくないから歌謡曲にチャンネルを替えてしまおう。このようなのをドロップアウト(脱落)と言います。がまんして考えなければ駄目です。このような方法を取り入れていた会社があります。糸川英夫さんの組織

工学研究所です。テレビの「スパイ大作戦」を所員に見せて途中でみんなが予想を書き込ませるわけです。翌日一人づつ発表させて討議し、総合評価をして点数を棒グラフにし、所員の考える力を伸ばしたそうです。

私たちの「考える力」は、このように身近なところに材料がたくさん横たわっています。高齢者の頭の体操に、熟年者の思考力・推測力に、若年者の自己教育力の練習に大いに役立つのではないかと思います。

このように生涯学習は、いつでもどこでも何からでも取り組むことが可能です。スタートをあまり大げさに考えたり、思ったりせず、今日から実行に移りたいものです。

### 生涯学習講習会 (生涯学習推進室)

市教育委員会は、生涯学習について理解を深めていただくため、学習社会に自ら参加してもらうことを願って生涯学習講演会を開催します。

お気軽にご参加ください。

- ▼日時 十二月七日(金) 午後六時
- ▼場所 市民会館(大会議室)
- ▼講師 安達 整さん(元道立図書館館長)
- ▼問い合わせ 市教育委員会生涯教育推進室(☎1100)

### 冬期少年宿泊研修会 冬のフロンティア アドベンチャー

市教育委員会は、冬休み期間中に屋外へ出ることの少ない少年を対象に、冬期少年宿泊研修会を開催します。

- ▼日時 平成三年一月十七日～一月十八日
- ▼場所 北海道立洞爺少年自然の家
- ▼対象 小学校三年生以上中学校三年生まで
- ▼募集人員 四十五名(定員になり次第締切ります)
- ▼参加料 二千元(保険料、施設使用料、食費、写真代)
- ▼持参するもの 防寒着、厚手セーター、スボン、洗面具、運動靴、替え下着、バスタオル、健康保険証(コピー可)
- ▼応募期日 十二月十日～十二月

十五日まで  
▼申し込み・問い合わせ 市教育委員会社会教育課青少年係(☎1100)

### お正月料理教室

市教育委員会は、身近な素材を使い味つけ盛りつけを今風にした「お正月料理教室」を開催します。

- ▼日時 十二月十三日(木)・十四日(金) 二日間 午前十時～正午
- ▼場所 登別婦人センター
- ▼材料費 二日間で千円
- ▼講師 石川幸子さん
- ▼持参するもの エプロン、筆記用具
- ▼申し込み・問い合わせ 市教育委員会社会教育課(☎1100)で十二月三日より受け付け開始

## ふろず相談 コーナー 開設のお知らせ

私たちが日常生活を営むとき、そこにはいろいろな問題や疑問が生じてきます。

市は、皆さんの抱える様々な問題について対応できるよう各種相談窓口を設けていますが次号よりふろず相談コーナーを開設します。年金や国保、その他行政に対する質問がありましたらご一報ください。広報紙上で回答します。



# 刈田神社と

## くじらの鳥居

今から八十年前の明治四十三年、夏に近い頃である。トンケシの海岸に一頭の巨大なクジラが寄りついた。波は穏やかであったが満潮の時に岸へ近づいたので潮が引くと眼の前が小山のように見える。当時の町の中心地幌別村字ハマ（幌別町一・二・三・四丁目）の海岸からは遠いがわずかに見えるのでにわかには大騒ぎとなり、海岸に伝いに幌別川の浅瀬を腰までつかりながら川を渡り、鉄道線路上を通って見物に行く人も多かった。

トンケシの海岸地域は小字名がトンケシで「寄りクジラ」の場所は現在の和町一丁目の西側、二丁目に近い所である。

この時のクジラの大きさは、井上家の記録によると百二十尺。発見者は大勢居たようであるが買った人は、当時幌別村前ハマやトンケシ、室蘭のボンモイ（栄町・本町の電信浜で小さい入江の意味）トツカリシヨ（母恋南町・海豹岩）マスイチ（増市町・海猫の家）などで手広く漁業を営んだ井上伊勢八（阿波国三好郡出身）である。百二十尺は約三十七尺もある。地球最大の動物シロナガスクジラ

は、国際捕鯨統計の記録によると最大級で約三十一尺、体重百ト以上。これでも象一頭三・七トとして二十七頭、牛五百五十頭で百八十頭。人間約千六百七十人に相当するがこれよりも大きいと言うから驚きである。

あまりにも大きいので岸からはしごをかけてよじのぼり、まさかやや鋸で叩き割ったり引き切つてやや小形にして、近くの仮小屋に運んだと言います。肉の一部は馬車で運搬し、室蘭方面に出荷した

# 郷土史点描

## 鯨と登別の

### かかわり



登別郷土文化研究会 宮 武 紳 一

鎮護の社、妙見稲荷社などとして会所や運上屋横に奉斎され、明治四年（一八七一年）に片倉家縁の白石刈田嶺神社の祭神日本武尊を分霊したが道南地方でも数少ない古い歴史をもつ社である。クジラは、登別地方の漁民にとっても昔から海の神の使者として畏敬され、海上を航行したり漁をしている時にクジラが現われると「おえべすさん」と言つて折り、沖言葉でクジラはえひす・えみすと言ひ七福神の福徳の神、漁師にとつては大漁の神、恵比須様であった。

本道に面した刈田神社のクジラの鳥居は道内でも珍しく、クジラ神社の異名もあり遠方から縁起の良いクジラの鳥居をくぐり詣でる人も多く、大正十一年（一九二二年）境内が狭いことから社は現在地に移転し、クジラの鳥居も復元したが、その後朽ちはたてて現在は残った一部分が刈田神社に保存されている。

らしいが暖い時期なので腐りやすく、釜炊きして締め木で搾り残ったものを「くじら粕」として骨の部分とともに肥料用に売りさばいたが全部を処分するのに二年もかかったと記録されている。また、クジラの顎の骨は、当時札幌本道（国道）に面し幌別村字ハマ（幌別町一丁目）に設置されていた刈田神社の鳥居として井上伊勢八、小堀某の名で奉納された。刈田神社は、江戸時代から胆振

また登別には、クジラまつりの祭り歌・ウボボの歌と踊りもあってアイヌモシリの時代から、クジラと人の深い関わりがあったことを知ることもできるのである。

# 国際化時代にふさわしい

## 人権意識を育てよう

人権週間……

十二月四日～十日

今日、わが国は、急速かつ大規模な経済的發展を遂げ、諸外国との人的物的交流の大幅な活性化により、名実ともに国際化時代を迎えつつあります。しかしこれに伴って各種の新たな人権問題が生じるとともに、従来から在在している外国人に対する人権意識についても改めて問題が提起されています。

経済面においてだけでなく人権の分野においても国際的に貢献していくために、国民一人ひとりが自分の意識の在り方について見つめ直していく必要があります。

日常生活の中で、いじめや体罰、プライバシーの侵害など人権問題でお困りの方は、札幌法務局室蘭支局（☎011-6738）または市内の人権擁護委員にご相談ください。

◎人権擁護委員

●星 喬（新生町五十一二十一、☎8286）

●赤塚幸吾（常盤町三一九一四、☎3829）

●多田弘（富士町六一二十七一四、☎2837）

●吉田勝彦（登別東町四一七一、☎1128）

●鹿内正敏（登別温泉町十一一三、☎2314）

# 冬道の

## 交通事故防止

ドライバーも歩行者も「思いやり」と「ゆとり」をもとう!!

# ジュニアスキー教室開催

登別スキー連盟は、市内の小学生を対象にジュニアスキー教室を開催します。

初めてスキーをする子供から上級技術を習いたい子供まで幅広く募集していますのでぜひご活用ください。

▼日時 平成三年一月七日・八日・九日（三日間）

▼場所 カルススキー場

▼対象 市内の小学生（六歳～十歳）

▼募集人員 八十名（先着順）

▼講習料 六千円（一人）

▼指導者 全日本スキー連盟公認指導員

▼申し込み方法 申し込み用紙に必要事項を記入の上、半沢真一さん（登別本町一十六 ☎2679）へ届けてください（郵送可）

申し込み用紙は開田医院（中央町五十四）、川西燃料店（登別東町四一五）にあります。

▼応募期日 十二月五日（水）

▼問い合わせ 半沢真一さんまで